



公私混同

状況を利用した不正な利益

【研修について】

- ・ 本研修の目安時間は、15分間です。
- ・ 講師の指示に従って、本資料を読み進めてください。
（勝手に本資料を読み進めないでください。）

【本研修の目的】

- ・ 隣の人や、後ろの人と**意見交換をしながら**、学ぶことを目的としています。積極的に発言しましょう。

状況を利用した不正な利益

商品企画部に所属するAさんは、新商品の開発のため、熱心に情報を集めています。
ある日、Aさんは自分の趣味の本を買うために書店に立ち寄りしました。棚から手に取り、少し読んでみると、新商品のアイデア出しに多少役立ちそうな内容もあります。
Aさんは、「資料代として、会社の経費にしても良いだろう」と考えています。



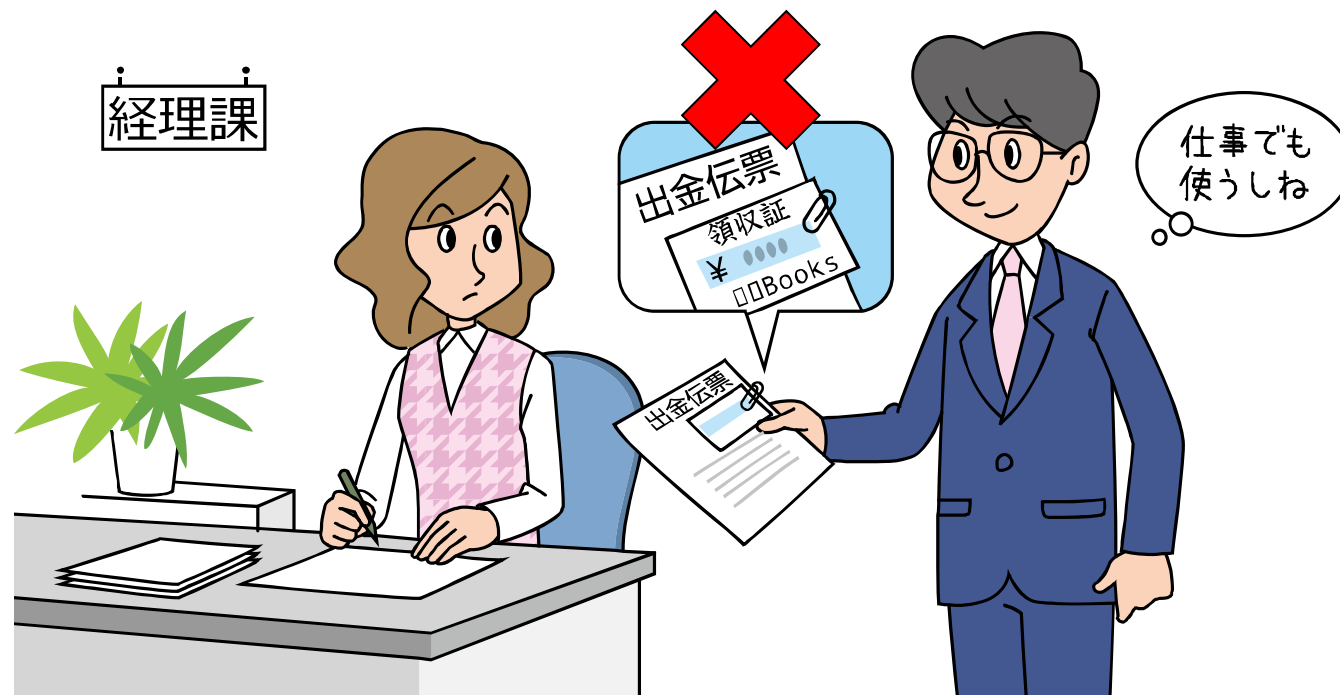
Q1

Aさんは、この書籍を会社の経費で購入しても良いのでしょうか？

A

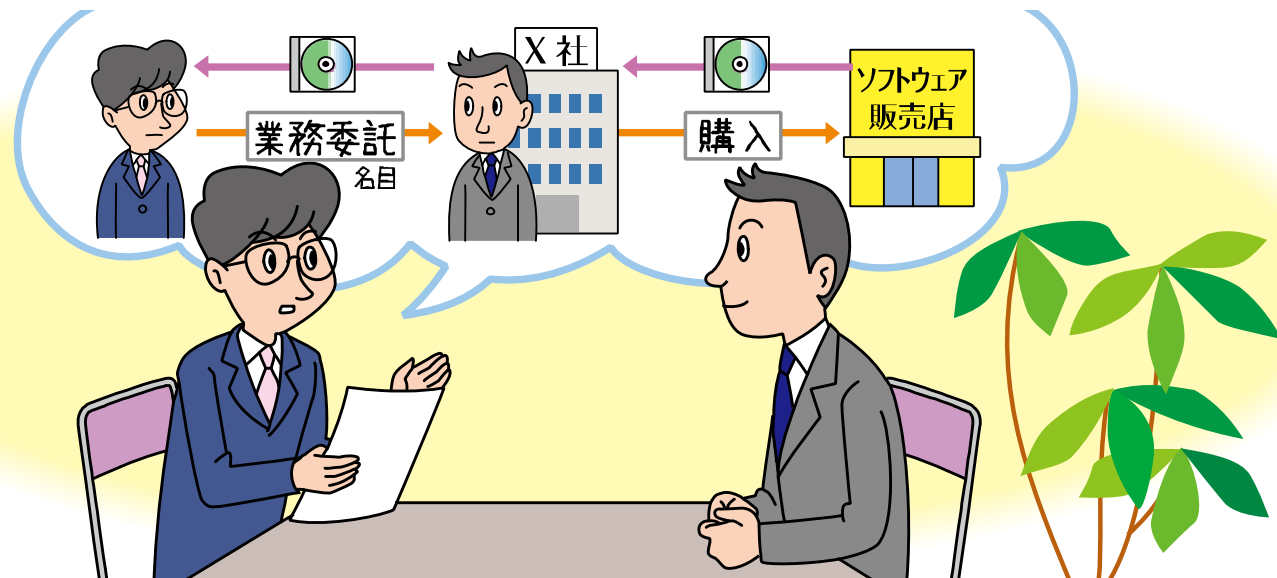
1

個人的な理由で購入したものを経費として請求してはダメ



個人的な理由で購入するものは、会社の業務に流用できる内容であっても、会社経費として請求してはいけません。

商品開発のチームリーダーに指名されたAさんは、プロジェクト用にソフトウェアをすぐに購入したいと考えました。しかし、社内手続きに時間が掛かります。Aさんは、どうせ購入するのだからと、付き合いの長い取引先のX社にソフトウェアを購入させ、「業務委託料」の名目で請求・支払をすることを思いつきました。



Q2

Aさんの考えた購入方法にはどんな問題がありますか？

A

2

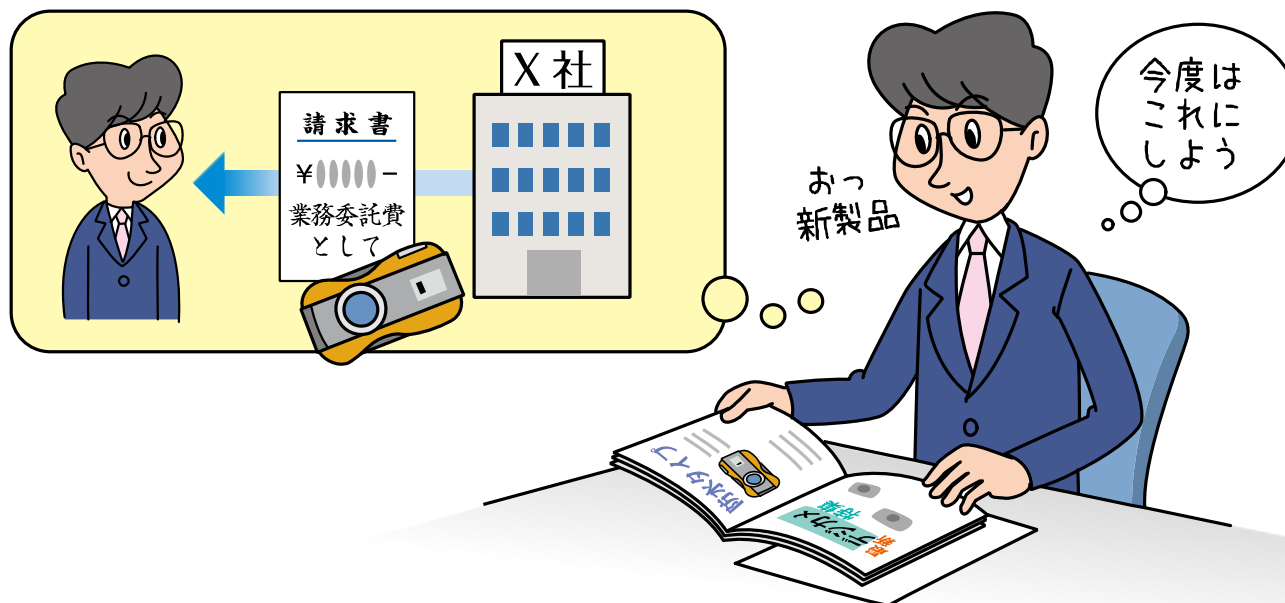
- ・ 会社のルールを破る行為
- ・ 取引先を不正に加担させる行為



会社のルール一つひとつに理由があり、自分勝手な理屈で破ることは絶対に許されません。社内規定違反として、厳しく罰せられます。
※場合によっては、犯罪(詐欺等)になる可能性があります。

また、優位な立場の担当者からの要請に、取引先は「No」とは言いにくいものです。誤った協力を求めるのは絶対に止めましょう。
不正に加担した取引先は、状況により取引中止になります。

その後も、AさんはX社にプロジェクトに必要な物品を購入させ、X社に業務委託費として請求させています。
やがて、そのなかにはAさんが個人的に使うものも含まれるようになってきました。



Q3

なぜAさんは、
個人的な物も購入するようになったと思いますか？

A

3

経費が厳密にチェックされない状況を知り 不正な利益を得ようとする気持ちが芽生えた

請求内容と実際が
違っていても、いままで
問題になっていないし…

外部の人には
個人の物と業務で
使う物の区別はできない

広く考えれば、会社の
業務に無関係な物
じゃない！

自分の視野が
広がって
業績アップに
つながる！

X社は口が堅いから
バasherことはない

経費の中身について、
厳密には
チェックされない

会社にたくさん貢献して
いるから、
これくらいは…



Aさん

Q4

**内部監査で、Aさんの経費請求に
不審な点が見つかり、
虚偽請求が発覚しました。
Aさんはどのような責任を負うこと
になるのでしょうか？**

A
4

- ・社内規定により解雇を含む重い懲戒処分を受ける
- ・詐欺罪、横領罪で告訴される
- ・虚偽請求した金額の弁済を求められる



「出来心」であっても、犯した不正は厳しく罰せられます。
また、不当に得た利益は、決して手元に残ることはありません。

お客さまの大切なお金をお預かりする生命保険会社においては、保険料・保険金等、保険契約に係る金銭についての「費消・流用」について、「募集人の登録抹消」、「代理店の委託解除」を含む、厳しい処分内容になっております。

**会社と働く人たち、その家族を守るのは
あなたのコンプライアンス行動です。**

お疲れ様でした。